



実習 5 2 : アラートの表示

ステップ 1 : アラート表示のセットアップ

1. ERES スタートページを開きます。
2. 右側パネルの「View / Design」にある「Launch Dashboard Builder」 のリンクをクリックします。
3. 「Open」  アイコンをクリックします。 実習 4 7 で作成した“ProductSalesDashboard”を選択し、「Ok」 をクリックします。 DashboardBuilder に表示されます。
4. “ProductSales”レポートを選択し、ヘッダーバーにある 「Set Alert」  アイコンをクリックします。



5. 「Alert Name」 の“Low sales” を選択し、「Ok」 をクリックします。
6. “CategorySales” クロス集計表(cross-tab)レポートの“Low sales in region”アラート項目を選択します。
7. 「Preview」 アイコンをクリックします。
8. アラートが起動したために、2 つのレポートの枠が点滅します。
9. 「Select Year」 フィールドのパラメータ範囲値を“2003”に変更します。“CategorySales”のアラートは起動しないため、枠の点滅も停止します。


ステップ 2 : 自動リフレッシュ

1. 自動リフレッシュの機能を有効するには、DashboardBuilder に戻り、“Options” アイコンをクリックします。
2. “Auto Refresh” オプションを選択し、リフレッシュの間隔を調整します(デフォルトで 6 0 秒)。「Ok」 をクリックし、ダッシュボードをプレビューします。
3. 設定した時間間隔で、ダッシュボードがリロードし、データをリフレッシュします。新しいデータによりアラートが起動した場合、同様にテンプレートの枠が点滅します。

備考： サンプルでは、データソース (例 : Woodview データベース)の内容は変更されませんが、自動リフレッシュの機能、その使用方法は後に役に立ちます。

ステップ 3 : ダッシュボードの保存

1. DashboardBuilder ウィンドウに戻ります。

2. 「Save」  アイコンをクリックし、「Ok」をクリックします。